

2024年12月19日

2025年1月より 所沢駅を「駅まちレジリエンス」のモデル駅に！

西武鉄道と所沢市は相互に連携を強化し、
安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します

西武鉄道株式会社
所 沢 市

西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：小川 周一郎）と所沢市（市長：小野塚 勝俊）は、今年1月に発生した能登半島地震により、発災地域一帯が大きな被害を受け、道路や鉄道などの交通網も寸断され、帰宅困難者が溢れる事態となったという教訓を踏まえ、発災から1年が経過する2025年1月より、ともに中核となる所沢駅を「駅まちレジリエンス」のモデル駅として設定し、西武鉄道各駅に先行して、駅における発災時のサービス提供と運用の検証を開始いたします。

所沢市は震災時等の対応として、既に各事業者と連携して帰宅困難者対策に取り組んでおり、西武鉄道では2025年4月実施を目標に、発災時の帰宅困難者向けのサービス提供を準備しています。これらを踏まえ、所沢駅を発災時の対応力を強化する「駅まちレジリエンス」のモデル駅とすることにより、西武鉄道と所沢市が共同で帰宅困難者対策等の取り組みを推進してまいります。

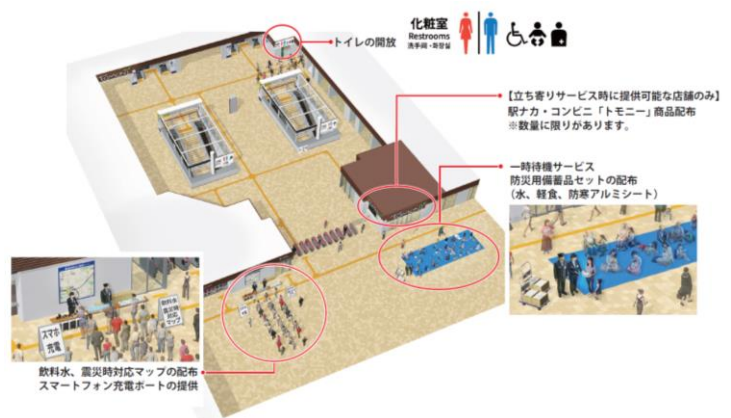
《西武鉄道・所沢市の連携》

- 2022年 帰宅困難者対策の連携協力に関する協定 締結
- 2023年 所沢市内のマチづくりに関する包括連携協定 締結
- 2025年1月～ 所沢駅「駅まちレジリエンス」モデル駅として運用・検証開始

今後も、西武鉄道と所沢市は官民一体となって、より一層の防災・減災の取組みを進め、安全で安心して暮らせるまちづくりを共に目指してまいります。



所沢駅



提供サービスイメージ

【別紙】

「駅まちレジリエンス」モデル駅について

所沢駅では、西武鉄道が2025年4月から発災時に帰宅困難者に対して提供を準備しているサービスを、他の駅に先行してモデル駅として、2025年1月から提供と運用の検証を開始します。

■サービス内容（所沢駅では下表すべてのサービスを提供します。）

【前提条件】

- ・電気・水道が使用可能な状況を想定しております。
- ・提供できる品数、バッテリー容量、スペースには限りがあるほか、被災状況によってはサービスを提供できない場合がございます。

提供サービス	内容	発災後経過時間の目安
トイレ開放など	トイレ開放・震災時対応マップの配布および 緊急時駅周辺情報マップの掲示	安全確認完了後、随時実施
立ち寄りサービス	飲料水・駅ナカコンビニ「トモニー」商品の一部提供 スマートフォン充電	
一時待機サービス (※)	駅内で待機できるスペースの提供と 防災用備蓄品セットの配布 (水・軽食・防寒アルミシート)	安全確認完了後～半日程度

(※)主に要配慮者(高齢者、障がい者、乳幼児、その他特に配慮を要する方)を優先とします。

今後、運用の検証を目的とし、所沢市と西武鉄道による帰宅困難者対応の共同訓練の実施等を検討しています。

《参考》

12月19日 ニュースリリース

「災害に強い沿線を目指し、『駅まちレジリエンス』をテーマに

各施策を通じて、災害時の対応力を強化します！」

URL:https://www.seiburailway.jp/newsroom/news/20241219_ekimachi/

◇お客さまのお問合せ先

西武鉄道お客さまセンター [営業時間：9時～17時（12/30～1/3を除く）]

TEL. 0570-005-712

以上